北包運通信

2024.11.18 発行 Vol. 150





DPD法

0.3

1.3

12段階

0.4

1.5

2.0

なし

残留塩素測定器本体 (比色板付) × 1 台 角形試験管シリコンキャップ付 × 3 本 ビニールケース × 1 コ

0.05~2.0mg/L

0.2

1.0

0.1

0.8

0.05

0.6

付(100回分)

残留塩素測定器本体(比色板付)×1台

角形試験管シリコンキャップ付×3本 ビニールケース×1コ

(商品コード: 4070012124)

測定法

付属品

標準比色窓

測定範囲

標準比色板

DPD粉体試薬

本測定器は、残留塩素を含む水にDPD試薬を加えたとき特異的に反応し、残留塩素の量に 応じて淡赤紫色を呈する反応に基づく簡易測定方法です。 試薬添加操作は1回です(総残 留塩素の測定の場合はオプションのヨウ化カリウムを併用して2回操作)。 遊離残留塩素と総残留塩素の区別ができる測定器です。

- ●DPD試薬は粉体試薬で、1回 1袋の分包タイプです。標準の100回分試薬と徳用の500 回分試薬があります。
- ●DPD試薬にはpH緩衝剤も含まれていますので、検液のpHを調整し、安定した発色測定 ができます(pH3~10の検水であれば安定した測定ができます)。
- ●オプションのヨウ化カリウム試薬を併用すると総残留塩素の測定ができ、総残留塩素濃度 と遊離残留塩素との差から結合残留塩素濃度を求めることができます。
- ●試薬の箱には試薬の有効期限が印刷されていますので、試薬の期限切れの確認が容易に できます。
- ●比色板が取り外せますので管理が容易で経済的です。









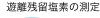
0.05から比較できるので、 0.1以上かどうかを比較しやす 済み!

·DPD法用粉体試薬は性能評価

DPD法用粉体試薬の有効期限 は製造後2年です。 製造から2年後の年月がプリント されています!

※当社独自検証による ・ヨウ化カリウム (別売) を加えることで結合残留塩素も測定可能

游離残留









塩素

総残留塩素の測定









残留塩素の基準

水道水

給水栓における遊離残留塩素として 0.1mg/l以上 (結合残留塩素として 0.4mg/I以上)とする。

測定方法はこちら











●検水の中央の孔に入れ、色を比較し、測定します。



留塩素の濃度を求 めます。

結合残留塩素濃度を求めます

結合残留塩素 (mg/L)=総残留塩素 (mg/L)-

お問合せは、弊社営業担当もしくはメールにてお願い致します。

Mail: hop-communica@hopporen.co.jp

※お届け地域により送料をご負担いただく場合があります。